みらい創政

湖南市議会議員

赤祖父ゆみ

3月議会報告書
N.75
2022年 4月

TEL／FAX　0748-77-5437

無断での複写・転用を禁じます。

♪ご意見お待ちしております。

［発行責任者：赤祖父ゆみ］
アドレス：pengin-fight.6.6.3.9@zeus.eonet.ne.jp
ホームページ：http://akasofu-yumi.net/

雪が溶け、季節はめぐり、今年も、雨山文化公園の梅の花、桜の花が美しく咲きました。コロナウイルスの感染拡大は、少し収まったように見えますが、新しいウイルスも発見され、油断はできない状況です。年度替わりは、春の陽気に誘われながら、外出される方も増えてきそうです。コロナ禍の影響で、2 年に亘る事業の自粛などから人と人が分断され、閉塞感が漂う中、これまでのような行事が戻るかは、大変難しい状況かと思い危惧しています。

ロシアによるウクライナ侵攻という想像もしえなかった現実がそこにあり、目を疑うような悲惨な戦場を目にするにつけ深い悲しみに耐えません。湖南市議会としても「ロシア連邦によるウクライナ侵攻を非難する決議」が全員賛成で採択されました。何事があっても、武力行使は許さない。多くの尊い命が奪われている現状を一刻も早く終わらせるようにと願ってやみません。

2 月 22 日から 30 日間の会期とした 3 月定例会が終わりました。私は、代表質問や予算常任委員長と大変重要なポストを任されました。3 月 30 日には、甲賀広域行政組合も終え、コロナ感染に充分気をつけながら過ごし、無事に終えることができ今はホッとしています。庁舎の耐震診断の予算があがりました。いつ地震が起きるのかわからない状況下で、今年も、まずはコロナ対応に重点をおいた予算編成でしたが、庁舎の耐震化も残された重要な課題であると認識しています。耐震だけでなく、今の時代に即した庁舎となるように進めなくてはならないですし、防災センターを兼ね備えた施設が必要と考えます。新しい耐震基準となりましたので、今一度耐震診断をして慎重に進めることに賛成をしたところです。その結果を受けてから、また市民の皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

市議会議員の不祥事事案が新聞掲載されていることにご心配をおかけし大変申し訳なく思っています。その真実はどうであるのか、現在政治倫理審査会で審査頂いています。暫し待って頂き、結果がでましたら皆様に報告をさせていただきます。加藤議員の案件につきましては、全員協議会で謝罪説明があり、問題ある点については、すべてクリアされたとお聞きしましたので、私は一定の解決になったと理解しました。今一度議員としての自覚をし、襟をただし、日々の活動を進めなくてはと気持ちを引き締めています。諦めることなく、市民の福祉向上に少しでも貢献でき、市民と行政のパイプ役となれるよう、日々精進して参りたいと思います。

赤祖父　ゆみ

議会審査

予算常任委員会　全議案可決

令和３年度一般会計補正予算（第 12 号）

林道維持補修工事

減額になっているが補修すべき林道はまだあるのでは→要望のあるところから順次しているが、事業実施の時間が足りず減額した。

灯油価格の高騰

火葬場や十二坊温泉ゆららなど委託料が増額しているが→今後の状況によって判断する。

令和３年度　介護保険特別会計補正予算（第３号）

各種負担金において実績見込みの増額・減額の要因は→コロナ禍で、通所を伴う事業は利用を控えが見られ、居宅介護住居改修は多く利用された。

令和４年度　一般会計　当初予算

引き続き新型コロナウイルス感染症対策を優先課題として、地域の活力を創生するため「きらめき・ときめき・元気創生　総合戦略推進枠」に積極的に盛り込んだ当初予算

当初予算額　216 億円

対前年度当初比　4 億 1000 万円増（1.9％増）

○厳しいコロナ禍ではあるが、市民税・法人税が増収になっている。景気の見込みについて→総売上は減っているが、無駄を排除して利益率を上げている。不安定であるが、そんなに悪くない。

○新規の公共施設予約システム導入業務委託について→24 時間対応で、クレジット機能等も使えるように進めていく。

○東庁舎耐震診断調査業務委託 1131 万 9000 円。→耐震診断を行える指名登録のある業者を考え耐震基準がどこまで必要なのかは慎重に進めたい。防災センターも必要と考え、時代にあったものにしたい。

○会計年度任用職員の保育士処遇改善策について→来年度が任用 3 年目にあたり、2 年間の実績を踏まえ見直しをする予定で、今年度は反映していない。

○小中学校の福祉医療費事業について、今後の見通しは。→月 700 万円の見込みだったが、令和 3 年度 9 ～12 月分の実績は月 573 万円で、医療機関の外来は、今後あまり増えないだろう。

○道路維持補修事業 3727 万円の増額予算について、本来 1 億円超えるぐらいの予算は必要ではないか→必要な予算と認識している。施設の適正管理に努めていきたい。

○タクシー車両による石部循環線運行業務委託 256 万 1000 円の新規事業について→14 車両と減車されることにより補完できないルートを小型車両でカバーするための業務委託費です。

○じゅらくの里利用体験施設「木工の館」の運営について、市が直営しながら、地元の方々と話を進めるのではなかったか。→利用者も増えてきて市から運営委託として「若鵜会」にお願いしている。令和 5 年までに指定管理のあり方を含めて検討していく。

○企業誘致推進事業 10 万 5000 円と少ない予算となっているが、市の考えは→湖南市の土地に魅力を感じている企業はたくさんあるが、紹介できる土地の用意がない。企業誘致可能な空き地を調整して、積極的に情報発信をしていきたい。

ホリデースクールの是非を問う！！
自由討議（議員間討議）を行ないました。

委員会としての意見

携わってこられた方々の意見をしっかり聞いて検討すべきであり、コロナ禍を理由に当事業を廃止するのは、いささか急なことである。日中一時支援事業とホリデースクールの目的は異なっている。スタッフ不足など、今のままでの運営では難しいが、障がい児にとって貴重な場となっているので、新たなホリデースクールの構築に向けて再度しっかり検討すべき。

この意見をまとめて付託しました。

令和４年度　国民健康保険特別会計予算

○財政調整基金積立 60 万 6000 円。令和 2 年度で約 4 億円あるが、積み立てる根拠と使い道について→基金は余剰金の約半分を積み立てており、今後の使い道は、令和 6 年度以降の県下統一後に湖南市の保険料が大きく上がる可能性があるため、その際の激減緩和策として活用したい。

令和４年度　国民健康診療所特別会計予算

○石部診療所が病床を持ち続けたことが地域医療の邪魔をしたという発言の意味と、医師確保に向けたこれまでの努力について→甲賀圏域として許可されている病床数があり、休床になっているため、医療を必要な人に与えられないという意味であり、医師派遣については、県に要望し続けてきたが、平成 25 年をもって湖南市への医師派遣は終了した。

令和４年度　介護保険特別会計予算

○地域支えあい推進員業務委託 2400 万円の市の考えについて→各まちづくりセンターに 1 人ずつ推進員を配置し、地域の様々な課題解決を地域に住んでいる市民を巻き込んで実行するための旗振り役をしてもらいたい。目的は災害対応と高齢者対応です。1 人で出来るかといった問題もあり、今後考えて行きたい。

○地域包括支援センター支所機能業務委託 3600 万円について 1 支所あたり 1200 万円の予算であり、市直営となる石部支所も人件費含めた同様予算運営することについて→民間ができることであるので、市直営であっても同じ条件で考えている。

シルバー人材センターの安定的な事業運営に対する支援に関する請願　全員賛成採択

令和４年度湖南市施政方針
予算編成方針

問　緊急時に備えての勤務継続対策と、市民・職員とのパイプ役の意味からも、副市長を置く事について

答　各課の業務継続計画は作成されています。副市長は必要と思い、考えています。

問　新型コロナウイルス感染症の今後の見通しと対応策は。

答　新しいウイルスが流行し始めています。ワクチンの免疫力は持続しないため、飲み薬も良く効きますが、４回目のワクチン接種が必要です。

問　カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現への取り組みは。

答　こなんウルトラパワー株式会社を中心に、太陽光発電や蓄電池等の設備導入を進め、地域経済循環を図ります。

問　デジタル化の推進と効率的な行政サービスは。

答　スマートフォンから公共施設の予約状況の確認や手続きができる公共施設予約システムの導入を進めます。

問　観光行政、魅力発進について

答　市内に点在する観光資源を結び「エリア観光」の推進に取り組んでいきます「営業」という要素を取り入れて、企業・団体・地域の皆さんと連携を密にしていきます。

問　文化庁との連携強化を図る「文化振興」は。

答　人事交流を通じで、国・県との連携強化を図り、文化・芸術の振興を図っていきたい。

問　歳入を如何に増やしていくのか。企業との協働の考えについて。

答　今、考え方を変える時。経営感覚を持ち、公共施設の有効利用については、民間感覚も取り入れながら、考えて行きたい。

令和４年度　教育方針について！

問　コロナウイルス感染症拡大に伴う子ども達への影響は

答　マスク着用により表情が読み取りづらい状況ですが、目と目を合せて対応する姿勢を一層大事にし、子ども達に寄り添った教育活動に努めていく。

問　「GIGK スクール構想」その可能性は

答　ICT ワーキンググループの教職員による研究事業で、ICT 実践の一般化を図り、データ駆動型の教育実現を視野に入れながら、主体的・対話的で深い学びをめざします。

問　生きる力の根っこを太くする湖南市教育の継続について

答　園については、公立・私立に関わらず、発達支援室の巡回相談員が定期的に訪問し、学級運営や園での活動についても保育士と一緒に考えています。今後も特別支援教育研修を継続して開催します。

問　「非認知能力」を育てるためには。

答　発達段階に応じた学びや体験活動で、多様性を認め合う「仲間づくり」を実践することです。

問　主権者教育の取り組みについて

答　多角的に考え主体的にまちづくりに参画する力が身につくようにめざし「ふるさと意識の醸成」を培っていきたい。

問　プログラミング教育について

答　情報活用能力の資源・能力の一つで、市費で教育教材「MESH」を購入し、充実に努めます。

問　コミュニティスクールに取り組む意義は。

答　本市教育方針の３本柱の１つは地域との協働です。保護者・地域住民に信頼される学校づくりをめざします。子どもたちが地域活動に参加・参画することで、地域住民の一人であることを自覚し、郷土愛を育む事に期待しています。今後は、防災教育にも目をむけていきたい。

問　生涯学習審議会設置についてどのように変わるのか。上位法との関係と、権力分離は守られるのか。

答　従来の社会教育委員と位置づけており、生涯学習全般について自由に意見が言える委員会です。社会教育法第 17 条第 1 項の一では、「社会教育に関する諸問題を立案すること」とあり、諮問されなくとも自由に意見が言える組織です。審査調査したことを施策に真摯に反映させることが権力分離に繋がると考えます。県の社会教育委員会との連携は今まで通り続けていきたいと考えています。

研修報告と議員活動

地方議会活性化フォーラム

1月29日（土）

輝け議会！in 伊万里

ウィズコロナ・アフターコロナ時代を見据えて、今こそ求められる対話による自治体議会の政策提言のあり方を考える。

早稲田大学名誉教授
北川正恭氏

西脇市議長　林晴信氏

「議会は住民のプラットフォーム」

大阪湾の海洋ごみ問題

1月31日(月)

環境セミナーZoom研修

日本が海外輸出しているプラスチックごみの量はかなり多い。現実を知ることから始め、一人一人が真剣に取り組んでいくことが今求められています。友ヶ島には多数のごみが漂流している。

大阪府立大　千葉知世氏

チーム議会で善政競争

2月9日（水）

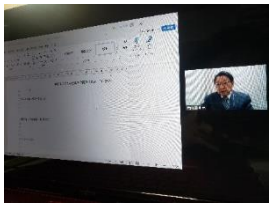
地方議会研修 in 西条

西条市議会
「議員と事務局が二人三脚で歩む議会改革」

那賀町議会
「住民から期待される議会目指して」

女性議員が地方議会で取り組むべきことを話し合いました。多くの学びを得ました。

地方の再生と日本の未来



2月10日(水)

コロナ禍で進行する変化

早稲田大学大学院教授
片山善博氏

〇SDGs と気候変動・脱炭素化。

〇デジタル化

コロナでの変化は戻らないものもある。新しい視点に立った地方ならではの施策が必要。

福祉教育常任委員会　全議案可決

湖南市生涯学習のまちづくり審議会設置条例
生涯学習および社会教育の振興を図るため。

湖南市社会体育施設条例の一部を改正する条例
下田グランドについて廃止。雨山テニスコート使用料の時間単位を変更。他の体育施設の充実と、将来のスポーツ施設検討委員の検討を。

湖南市立学校施設解放条例の一部を改正する条例
岩根小学校の多目的ホールの追加する。

湖南市国民健康保険診療所の設置等に関する条例
石部診療所の入院業務を廃止。新たな診療業務へ転換を図る。

湖南市第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定
社会福祉協議会でつくられてきた計画と、一体となり、「地域共生社会」「我が事」「丸ごと」総合相談支援体制の整備を図っていきます。

議会報告会・・赤祖父ゆみと話そう会

令和4年4月30日(土)

石部まちづくりセンター

19：00～20：30

皆さんのお声をお聞きします。感染対策を行ない開催いたします。
Zoomでの参加希望者はご相談ください。

湖南市倫理条例調査会を傍聴

第1回　1月13日（木）
・審査会の運営について
・今後の審査スケジュール

第2回　1月28日（金）
・森淳議員、大島正秀議員事情徴収。（公開）

第3回　2月21日（月）
・2件について審査。（公開）

第4回　3月23日（水）
・大島議員の弁明。（公開）
・２件についてをまとめる。（非公開）

まだはっきりとした答申は出ていません。私が傍聴しました内容は、ホームページに詳細をアップしています。今後結果が出ましたら、議会として報告をいたします。

ホームページもご覧ください！

http://gkgsofu-yumi.net/

1月
10日　こなんアンサンブルフェス
11日　障がいのある人の人権について考える
14日　予算常任員会・議会改革推進特別委員会
21日　防災カフェ
26日　臨時議会
28日　湖南市青年集会

2月
3日　会派代表者会議・小型乗合自動車住民説明会
4日　福祉教育常任委員会・滋賀県議長会研修
10日　予算審査のあり方について研修
13日　子どもの虐待を考えるシンポジウム
14日　放課後デイサービスひなた・大地の会例会
16日　全員協議会・会派代表者会議
17日　認知症予防対策セミナー
22日～3月23日　3月議会定例会（30日間）
24日　湖南市美術展
26日　ことばの教室親の会学習会・図書館協議会
27日　滋賀県ライフ講座等開催支援事業（不妊症）

3月
5日　滋賀県ちふれん研究会大会
6日　「監査計画」と議選監査の役割・やさしい日本語
12日　災害ボランティア運営隊実地訓練
13日　災害時の外国人支援・多言語情報支援訓練
19日　こなんSDGs政策フォーラム
30日　甲賀広域行政組合議会